

「クレジットカードのショッピング枠の現金化」は

禁止されています!



「クレジットカードのショッピング枠の現金化」とは?

ショッピング枠を本来の目的である商品やサービスの購入に利用するのではなく、換金を目的としてカードを利用することです。JCBは、このような行為を認めておりません。



インターネットや雑誌・新聞・看板などで、「カードのショッピング枠を現金化します」とうたった広告をよく見かけますが、どんなしくみなのですか?

なんとなく怪しいイメージを持っているかと思いますが、この機会に説明しましょう。主な方法は2通りあります。

ひとつめは、「**買い取り**」方式と呼ばれていて、電化製品やパソコンなどの商品をカードで購入させ、業者が手数料を差し引いた金額で買い取るというもの。現金は支払われますが、商品は業者が買い取るため利用者の手もとには残りません。ふたつめは、最近増えている「**キャッシュバック**」方式です。これは、ほとんど価値のない品物、例えば置物とかCD-ROMなどを高額でカード購入させ、キャッシュバックと称してその何割かを業者が利用者に現金で戻す方法。形だけの品物はあとから送られてきます。



そうなんですね。ですが、どちらの方法もすぐに現金を受け取ることができても、後日、**それ以上のカード利用代金をカード会社から請求されますよね。**

そのとおりです。受け取った金額とカード会社からの請求金額の差額は、利用者が支払わなければなりません。例えば、50万円のカード利用をして40万円を受け取った場合、その差額は10万円ですが、これを年利に換算すると300%（※）にもなってしまいます。**ショッピング枠を現金化するということは、手にした金額以上の債務を負うことになるんです。**



※元本40万円を借り入れ、利息10万円を加算して30日後に返済する場合



よくわかりました。結局は、利用者になんか大きな負担がかかってくるんですね。広告や勧誘に惑わされないよう十分気をつけます。

決して利用しないでください。



換金目的のカード利用は会員規約違反となり、カードのご利用を停止する等の対応を取ることがあります。また、犯罪や思わぬトラブルに巻き込まれるケースもありますので、決して利用しないでください。